

大学入学共通テストって何？

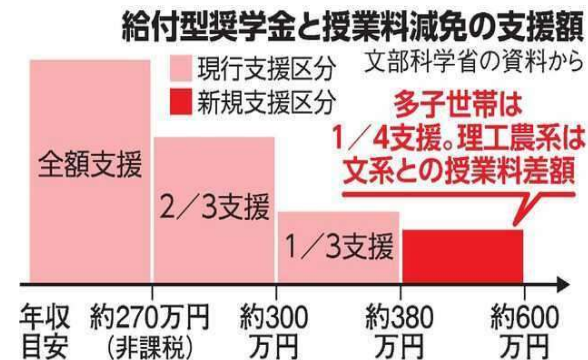
共通テストでは、「思考力を測る」という出題方針があるので、「日常の出来事をテーマにした出題」や「2つ以上の資料を読み解く問題」が出題され、問題文が長いのが特徴です。ただ「高校の教科書を基礎とし、特定の事項や分野にかたよらないようにする」ということが基本になります。問題文が長いなどの共通テストへの慣れは3年になると必要になりますが、日々の授業での学びを大切に、まずは基礎となる教科書を理解して、しっかりと土台を築くことが何よりも重要です。「情報I」「歴史総合」なども国公立大私立大とも受験科目になります。

75期大学生チューター千葉大学のM. Mさんの言葉です。「まずは12年生で学ぶことは受験の基礎なので、しっかり取り組んでください。12年生の時に基礎が完成していれば、受験勉強もスムーズです。」

学びたい意欲、進学希望を経済的に応援する制度！

国公立大学の初年度納付金（入学金、授業料など入学手続き時に支払う費用は、約82万円、私立大学は文系115万円以上、理系140万円以上です。経済的な理由で進学をあきらめることがないよう、国が修学を支援する新制度が、2020年4月からスタートしました（右の表参照）。

授業料などの減免	国公立		私立	
	授業料	入学金	授業料	入学金
大学	54万円	28万円	70万円	26万円
短期大学	39万円	17万円	62万円	25万円
高等専門学校	23万円	8万円	70万円	13万円
専門学校	17万円	7万円	59万円	16万円
	自宅生	自宅外生		
国公立 (大学・短大・専門学校。高専は今後検討)	35万円	80万円		
私立(同)	46万円	91万円		
① 住民税非課税世帯 (年収270万円未満)	全額支援			
② 年収270万～300万円未満	非課税世帯の3分の2を支援			
③ 年収300万～380万円未満	非課税世帯の3分の1を支援			



持って、大学進学を目指して行きましょう。

12年のみなさん、7月進研模試はどうでしたか？

1年生のみなさんは、高校で初めての全国模試です。2年生のみなさんは、1年生と2年の1学期の勉強の成果を発揮する校内模試になります。進研模試は定期考査と違い、全国の大学受験を目指す高校生約50万人以上が受験する全国大会のようなものです。

「理想の模試受験パターン」

①各教科ごとに目標設定



②受験後当日の自己採点&各教科ごとの振り返り

③返却時の各教科ごとの復習&振り返り

模試は定期考査と違い、自分の弱点教科と弱点分野を見つけるための試験です。弱点を放置しておく、大きな穴になってしまいます。模試ごとに丁寧に復習して補強していく地道さが、皆さんを大きく成長させます。

模試は授業と同じ学習活動であり、「上高の進路指導の一環です。」集中して解くことが重要です。

3年生になるまで、進研模試デジタルサービス等も活用しながら「理想の模試受験パターン」を実行していきましょう。

次の模擬試験の日程は、11月ベネッセ進研模試です。毎日の学習や定期考査に真剣に取り組みながら、学習の全国大会＝模試に挑戦していきましょう。

12年のみなさん、目標を高く自分の個性を生かそう？

1年生のみなさんは、高校生活に慣れてきましたか？高校の勉強は中学校と違い、予習や復習をする必要があり、課題も多いです。

最初に高校の勉強パターンに慣れていきましょう。そうすれば、成績は向上して行くと思います。「中学校の時は、予習しなかった」とか「中学の時は、小テストの勉強しなかった」などと中学校を引きずるのは、まだ高校生になりきれていません。高校は部活動や行事と両立する必要もあるので、スキ間の時間をうまく使きましょう。そして学校がある日も3時間目標に学習時間が確保できるように、家庭学習の定着もしっかりと図っていきましょう。

2年生のみなさんは、2年生としての学習態度や生活態度について自覚はできているでしょうか？学校行事、部活動等すべてにおいて核となって活躍するのが2学年です。勉強も難しくなります。第一志望校も是非今年中に決定しましょう。目標＝ゴールから逆算して今何をしなければならぬか考えて日々を過ごすことが大事です。



大学入試共通テストの内容は12年生で学ぶことがほとんどです。2年生を「中だるみ」ではなく「中励み」になるように生活のリズムを作ってください。そして学校がある日も3時間以上学習時間が確保できるように、家庭学習の定着もしっかりと図っていきましょう。

12年のうちに+αで自分が興味のある教科を深めてみることもおすすめします。

12年生の皆さんは、「総合的な探究の時間」を絶好の機会と考え、上野高校の校訓の「自主」の精神で、自分から探究したり、発展的に調べたりすることはとても大事です。本を複数読んだり、調査をした結果を研究レポートにまとめる等の経験がポートフォリオとして蓄積され、大学での学部・学科選びや推薦入試にもつながります。

「看護師をめざしており、看護体験をしたり、地域包括ケアシステムなどの医療問題についての本やインターネットで調べて、志望大学を選びました。」(75期 川崎市立看護大学 N. Aさん)

「自然が大好きで、環境や食についてのネットの記事や本を読んでいく内に農学を学びたいと思いました。」(74期 茨城大学農学部 T. D君)

12年の皆さん、何のために大学に行くのでしょうか？「自分の将来のため」「結婚して家庭をつくるため」「自立した生活を送るため」などでしょうか。でもそれだけでは少し寂しい気がします。

「自主協調・叡智健康」の精神のもと、日々自分を成長させている上高生のみなさんです。大学に行く目的は「世の中の人々の役に立つ」ために、「自分に与えられた個性を磨き」、「自分を高める」ためにあるのではないのでしょうか？

それは、みなさんが自分や身近な家族の幸せのためだけでなく、将来出会うであろう友人や恋人やたくさんの仲間たちのため、東京、日本、そして世界をより良くしていくために学ぶということも意味します。

みなさんの素晴らしい個性を生かし、AIも活用しながら、新しい社会を切りひらいていく可能性を信じて学んでいきましょう。

大学訪問 東京農工大学を訪れて

今回の大学訪問は東京農工大学です。東京農工大は、農学部と工学部を持つ国立理系の総合大学です。上野高校からは、75期生が2名、73期生が2名合格ですが、理系を目指す生徒は是非チャレンジして欲しい素晴らしい大学です。

【東京農工大学のアピールポイント】

①緑豊かな新しく美しいキャンパス！上野高校から1時間で到着！

上野高校を出て、根津駅から新御茶ノ水で乗り換え、中央線を使って東小金井駅へ。そこから徒歩6分で小金井キャンパスに到着しました。小金井キャンパスは工学部がメインのキャンパスです。農学部は府中キャンパスで、中央線の国分寺駅から5分おきにでている府中行きバスに乗り、10分で東京農工大前のバス停に着きます。どちらも上野高校から1時間以内で到着するので、十分通いやすい大学です。

工学部のある小金井キャンパスの校門に入ってキャンパス内を歩くと、けやき並木やいちょう並木が出迎えてくれて、公園のような中庭の周りにたくさんの研究施設が並んでいます。また農学部のある府中キャンパスは、東京とは思えない東京ドーム7個分の広さを持つキャンパスには農場もあり、たくさんの馬や牛も飼われています。馬術部の練習を見かけたのも、農学部キャンパスならではと思いました。

②色々なジャンルでトップクラス！科学技術の研究は世界水準！

農工大は「すぐれた研究を行っている大学」ランキングは6位です。また就職力ランキングでも3位にランクされています。大学に対する満足度も85%と非常に高いです。また女子学生の比率も、工学部は20%、農学部は半数が女子ということで、理系大学の中で女子の割合はトップクラスに高い大学です。そして世界的なレベルで研究を行っている先生も多く、世界中から農工大で学びたいという留学生が集まっています。

③グローバルな理系人材になるために、留学制度が素晴らしい！

農工大は夏休みや春休みを利用した短期の語学研修プログラムや1ヶ月程度の短期派遣留学を始めとして、数ヶ月以上の留学など世界43カ国158大学と提携し、留学するチャンスもたくさんあります。海外に留学することで、世界を舞台に学ぶことができます。

【東京農工大学に合格するには】

①**学校推薦型入試で合格する** 農工大は共通テストを受験する学校推薦型入試があります。書類審査と共通テストで決定し、一般受験と併願できるおすすめの推薦です。

②**総合選抜型入試で合格する** 農学部で総合選抜型入試を行っています。農学部は共通テスト受験も加味したゼミナール入試やプレゼンテーションや面接で可否を決定します。書類審査もあり、成績優秀で、自然科学に対する興味がある人を求めています。ただ令和7年度入試については、要項が発表されていないので、今後の大学HPで確認してください。



②**一般受験で合格する** 東京農工大学の一般入試は共通テストを受験する必要があります。外国語(英語可)・「数学I・数学A・数学II・数学IIBCから1教科選択」・国語・「公共・政経」「公共・倫理」「公共・地総」等から1教科選択・情報Iになります。二次試験は英語・数学IAIIBC・理科(物理・化学・生物から2科目選択です。「地歴・公民」は農工大志望の場合だと「公共・政経」か「公共・地理総合」がおすすめです。

東京農工大生に聞きました！

(75期 東京農工大学工学部合格

M. H君・K. S君)

Q 後輩の皆さんにアドバイスをお願いします。

A 大きな目標を立てるとやる気ができます。自分の場合第一志望は京都大学でした。普段の当たり前の授業や講習を活用して、空き時間に集中して勉強すると部活動や行事と両立できます。それと国公立大を目指すなら、とにかく12年の勉強の基礎を固めてください。(M. H君)

A とにかく学校の勉強を大事にしました。基礎がとにかく大事なので、12年の勉強は大事です。数学は数IAなど基礎から振り返ったり、英語は学校のテキストで長文をたくさん読みました。理科も学校の教材メインで、分からないことは先生に聞きました。自宅で集中できない時は自習室を利用して勉強しました。(K. S君)



(東京農工大学農学部応用生物科学科4年M・Mさん)

Q 応用生物科学科を志望した理由は何ですか？

A 高校の生物の授業で遺伝子や光合成などについて習った時、ミクロの世界が面白そうだなと思ったことが志望のきっかけです。食品や管理栄養士にも興味があったので、食品について科学的に学べる学科を志望しました。

Q 応用生物=バイオのイメージは正しい？

A バイオはメインのテーマですが、すべてではありません。たとえばチョコレートを溶かして適切な温度で固める作業の温度やなめらかさの関係を調べるなど、身近な食品の製造工程を化学的に学ぶ授業もありました。

Q 今どんな研究をしていますか？

A タンパク質であるコラーゲンが分解された時にしかできないアミノ酸の中で、どれが肌の老化改善に効果的かを研究しています。

Q 大学卒業後の進路は何ですか？

A 大学院に進学後、化粧品の開発をしたいと思っています。友人は食品や製薬など幅広い進路に進みます。

Q 学部選びにアドバイスはありますか？

A 興味のある研究室が複数ある大学・学部を選ぶことをおすすめします。何故なら入学後色々迷いながら選択できるからです。

